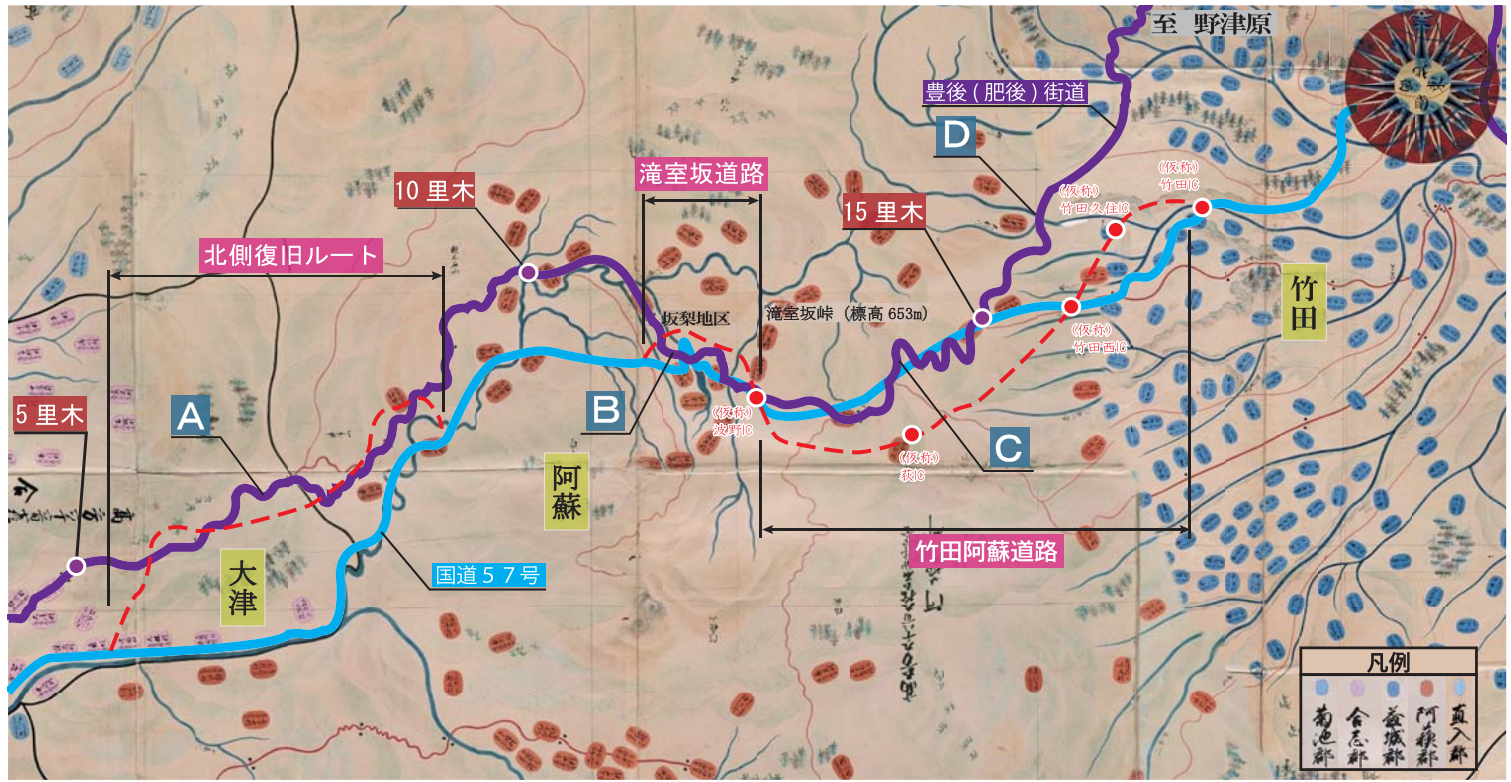




古道 豊後(肥後)街道

「道」は人と地域を結び 心まで通い合う

豊後(肥後)街道は、熊本城「札の辻」から大津、阿蘇を超え、大分県鶴崎までの31里(124キロ)。加藤清正公によって整備、江戸時代には参勤交代の道として、政治、経済、文化、軍事、年貢納めの道などの重要なルートとして発展した歴史街道。



出典 国立公文書館デジタルアーカイブ 天保国絵図

坂梨の町並み




今

昔

A 二重峠



二重峠（標高 683m）は、古代・中世・近世を通じて、政治・経済・文化・軍事・年貢納めの重要なルートでした。古くは平安中期の古代官道、参勤交代の道、西南戦争などに使われました。神話に登場する地名に健甕龍命（月の名人）が阿蘇カルデラ内の湖水を排水して美田にするため、外輪を蹴破ろうとした二重（ふたえ）や往生岳から月で石を的に練習した的石（まといし）が今でも残っています。

B 滝室坂



滝室坂は、熊本から滝室坂までは十三里に位置し、加藤清正公（熊本初代藩主）が軍事と交通の重要なルートとして整備。その後、細川藩が参勤交代に利用した豊後街道の最大の難所でした。宿場町坂梨から北外輪山に至る標高差約 200m、距離にして3キロの急坂です。この坂を人々から「大阪に坂なし、坂梨に坂有り」と呼ばれていました。また、伊能忠敬も日本地図作成に坂梨宿に止宿しました。

C 境ノ松坂石畳



境ノ松坂石畳は、参勤交代のため整備された、肥後と豊後を結ぶ豊前街道の一部です。鬱蒼とした杉林に囲まれて平均幅約3m、長さ200mの古い石畳の道です。途中鋭角のカーブがあり、大分県境手前、熊本県最後の難関です。石畳をのぼりつめると、かつて肥後と豊後の境に植えられた境の松がありました。開けた視界の先は豊後の国。また、峠の茶屋もありました。

D 今市宿の石畳



今市宿の石畳は、江戸時代の参勤交代路です。石畳は、幅約2メートル、延長660メートルに及びます。当時は宿場があり、上町と下町に分かれていました。途中には、「信玄曲り」と呼ばれるクランク状の曲がり角が設けられ、宿場全体を見通せないよう、防備のための構えがありました。また、曲がり角には火除藪としての竹林が作られて防火にも役立っていました。



■お問合せ先



国土交通省 九州地方整備局
佐伯河川国道事務所

国土交通省 九州地方整備局
熊本河川国道事務所

〒876-0813 大分県佐伯市長島町 4 丁目 14 番 14 号
TEL：0972-22-1880(代) <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/>

〒861-8029 熊本市東区西原 1 丁目 12 番 1 号
TEL：096-382-1111(代) <http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

令和元年10月作成

竹田阿蘇道路

地域高規格道路 中九州横断道路



竹田阿蘇道路について

竹田阿蘇道路は、中九州横断道路の一部を形成する大分県竹田市から熊本県阿蘇市までの延長 22.5km の自動車専用道路です。

竹田阿蘇道路の整備により、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成され防災機能の向上が図られるとともに、安定した物流ルートの形成による地域産業活動の支援や救急医療施設へのアクセス性向上による地域医療活動の支援が期待されます。

整備効果1 防災機能の向上

並行する国道57号は急カーブや上り下りが多く、また落石等の災害が発生する可能性があります。

竹田阿蘇道路の整備により、そのような箇所を通る必要がなくなり、災害時の救援活動等においても機能する道路となります。



国道57号の通行止め状況と広域防災拠点

整備効果3 地域医療活動の支援

竹田阿蘇道路の整備により、第3次救急医療施設（高度処置が必要な重篤患者への対応機関）までの救急搬送時間が短縮し、60分以内で到着できる人が増加します。



第3次救急医療施設への60分圏域

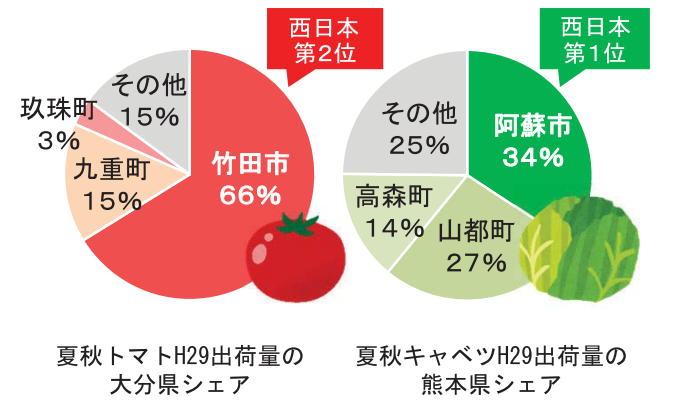
竹田阿蘇道路の事業概要

路線名	中九州横断道路 竹田阿蘇道路
起点	大分県竹田市大字会々
終点	熊本県阿蘇市波野大字小地野
延長	22.5 km
道路規格	第1種第3級（2車線）
道路幅員	W=12.0m
設計速度	80 km/h
事業化	平成31年度（令和元年度）

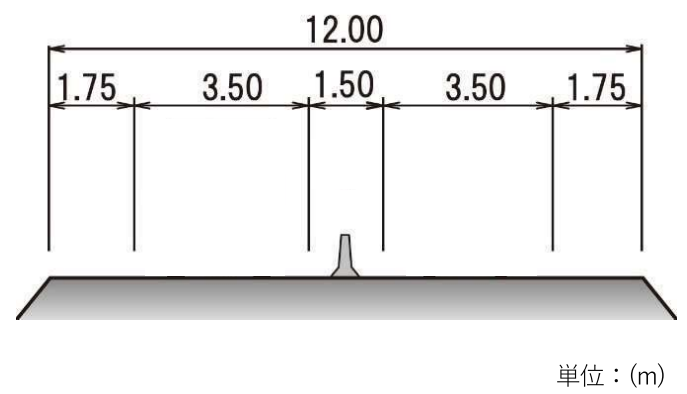
整備効果2 地域産業活動の支援

沿線地域は、高原野菜の生産が盛んで、トマトやキャベツの西日本有数の産地です。

竹田阿蘇道路の整備により、大分市や熊本市の卸売市場まで、揺れが少なく早く輸送することができます。により、高原野菜を新鮮なまま届けることができます。



標準横断面図



単位：(m)

